

STYLING COLLECTION 2026 中央大会 競技要項

ボディ部門

フリー種目

定員
15名

成人式着付けボディ

〈出場資格〉 理美容室勤務者、理美容室経験者

〈競技時間〉 45分（競技40分、途中審査5分）

競技規定

作品テーマ「成人式～ハレノヒ～」

- ・成人式の品位ある着付の技術力とトータルバランスを競技する
- ・ボディ補正・長襦袢着付までの競技、振袖着付・帯結びの競技に分けて行う
- ・競技時間内にポージングまで行う
- ・選手は1人で着付を行う
- ・選手の服装は上衣は白のシャツやブラウス、下は黒のパンツ（素材は問わない）
- ・1次競技・・・補正～長襦袢までを15分で行う
- ・(途中審査)
- ・2次競技・・・着付～帯結び・ポージングまでを25分で行う

※ボディは当日、会場にてご用意しております
※フォト部門以外のダブルエントリーはできません

失格事項

- ・競技要項と詳細要項に記載の内容に反した場合
- ・競技時間終了後、モデルに触れていた場合

出場費

会員 ¥8,000 / 一般 ¥10,000

エントリー期間

5月1日（金） 昼12時～5月29日（金） 昼12時

※エントリー後のいかなる変更・ご返金是对応致しかねますので、ご了承ください。

2026年度版 成人式着付ボディ 詳細要項

(1) 課題の内容

- ・成人式用の中振袖の着付(六通または全通の袋帯使用)を行う。帯結びは自由とする
- ・成人式の品位ある着付の技術力とトータルバランスの完成度を競技する

(2) 競技規定

- ・ボディ補正・長襦袢着付までの競技、振袖着付・帯結びの競技に分けて行う
- ・競技時間内にポーズまで行う
- ・選手は1人で着付を行う
- ・選手の服装は上衣は白のシャツやブラウス、下は黒のパンツ（素材は問わない）
シンプルで清潔な服装であること（肌の露出の多いものや、透けるもの、ヒラヒラするものは禁止する
帽子、スカーフ、ショール、アクセサリも禁止とする）

(3) 競技時間

1次競技・・・補正～長襦袢までの20分で行う

（途中審査）

2次競技・・・着付・帯結び・ポーズまでを20分で行う

着付時には、衣装敷の左後ろに正座したまま「お願い致します」と挨拶してから、競技に入る

(4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの)

- ① 中振袖(重ね衿または比翼つき)
- ② 袋帯(六通または全通)
- ③ 草履
- ④ 長襦袢
- ⑤ 帯締め、帯あげ
- ⑥ ボディ(高さは、床から肩の高さまで125cm)
- ⑦ 衣裳敷き(120cm x 180cm以内)
- ⑧ 衣装箱
(通常の衣装箱及びそれに準ずる箱を必ず持参し、大きさは縦44cm×横64cm×高さ25cm以内とする)
- ⑨ 小物付属品

(5) 着付け競技に関する注意事項

- ① 衿とじは、事前にやってくること
- ② ものさし、メジャーの使用は認めない
- ③ 助手の使用は一切認めない
- ④ クリップを留めるための、ポーチや腰用のエプロンの使用は認めるが、タイム前にそれらにクリップを留めることは認めない（スタート後はOK）

- ⑤ ブラジャーの使用は認めない。和装用のブラジャーは使用可（補正付は禁止）
- ⑥ 胸をつぶすための補正やガーゼは使用して良い
- ⑦ 極端に完成されたボディ補正道具の使用は認めない
- ⑧ 補正を止めるための、テープや包帯止めは使用可
- ⑨ ボディ補正のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない
- ⑩ ひも付きのおしりパットも不可
- ⑪ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない
- ⑫ 帯に形付けをしたり、帯結びの課程につながる過度のたたみ方は認めない
- ⑬ 袖の板紙使用は、競技の際の使用は認めない
- ⑭ 帯飾りは禁止
- ⑮ 帯あげは出来上がりが「入」の字型とする。帯締めは中心で結ぶこと
- ⑯ 競技終了後、選手は作品に一切触れてはならない

(6) 衣裳類の禁止事項

1 中振袖

- ① 身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない
- ② おはしより紙は使用禁止とする
- ③ 重衿は着物の衿に付けること

2 長襦袢

- ① 衿は自由とするが、半衿は必ず縫い付ける
- ② 後衿の力布は使ってはいけない
- ③ 特殊加工をほどこした衿や刺繍の入った衿は認めない

3 帯

- ① ひだの折り癖がつけられているものは認めない

4 小物

- ① コーリンベルトの使用は認めない
- ② 帯飾りは禁止とする

(8) その他の注意事項

- ① 競技中に選手同士、観客と会話等をしてはならない。またアドバイスも受けてはならない
- ② 競技中道具の貸し借りをしてはならない
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視員の指示に従わない等の行為は禁止とする
- ④ タイムを計るためのタイマー、時計は音の出ない物に限る
- ⑤ 競技中に選手が時計、ブレスレット、指輪を身につけてはいけない
- ⑥ 補正に使うタオルは白無地に限る
- ⑦ 競技用具は、大会当日の朝、競技が始まる前に、監視委員が厳重に点検を行う

⑧ 忘れものの申告は監視委員を通すこと

(9) 減点事項

- ① 作品が時間内に完成しなかった場合
- ② 忘れ物をした場合
- ③ 競技時間以外に、作品を修正した場合
- ④ 上記禁止事項や、注意事項を守らなかった場合

【競技会場 たとう紙、衣装箱、選手靴、モデル草履の配置図】



